

令和5年度 自己評価【ほしのご保育園】

1. 子供の福祉を増進することにもっともふさわしい生活の場 ①健康・安全で心地よい生活

前期 後期

		前期	後期
1	子供が安心して生活できるように、子どもの思いや願い（サイン）を見逃さず受け止めていますか。	4	4
2	子どもの人格を傷つけないように、自尊心や羞恥心への配慮をした保育をしていますか。	5	5
3	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか。	5	5
4	登園時の子どもの健康観察を丁寧におこなっていますか。	4	5
5	生活リズム、体調等に配慮し、一人ひとりに合わせた対応をしていますか。	4	5
6	子どもと生活や遊びを共にする中で、一人一人の子どもの心身の状態の変化に気づき、対応していますか。	4	5
7	日々の室内外の点検をし、安全に遊べる環境を整えていますか。（玩具や絵本など壊れたり破れたままになっていませんか。）	4	5
8	子どもが心地よく過ごせるような環境にしていますか。（テーブルなど汚れたままになっていませんか。）	4	4
9	子どもがおいしく楽しく食べることが出来るように、保育を工夫していますか。（メニューその日の野菜などに興味を持てるようにしていますか。）	4	5
10	清潔にすることの気持ちよさを知らせていますか。（鼻水が出たままなどはいいですか。）	4	5
11	乳幼児がかかる感染症を理解し、その時々に応じた対応をしていますか。（登園の目安を知っていますか。）	4	5
12	薬の取り扱いには十分配慮していますか。（お預かりする時の必要な書類等を知っていますか。）	4	5
13	特別な配慮を必要とする子供に対して、きめ細やかな援助をしていますか。（その子にとって過ごしやすい環境を整えていますか。）	4	5

1. 子供の福祉を増進することにもっともふさわしい生活の場 ②子どもの主体的な生活

1	子どもが興味や関心を持ち、自ら遊ぶようになるような援助をしていますか。（玩具等の用意は成長発達を考えて用意していますか。）	4	4
---	---	---	---

1. 子供の福祉を増進することにもっともふさわしい生活の場 ③人との関わりを育む保育

1	保育士や友達との関わりの中で、自己主張しながらもお互いの気持ちに気づいたり、認めることが出来るような関わりをしていますか。	5	5
---	---	---	---

2. 生活と発達の連続性 ①子ども観・発達観の理解と共有

1	乳幼児期は生涯にわたる生きる力の基礎が培われることを心に留め、保育していますか。	5	5
2	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解し、保育していますか。	5	5
3	子どもの発達過程や発達の特性を踏まえ、見通しを持って保育をしていますか。（どのように育てたいかなど考えられていますか。）	4	5
4	子どもの発達過程や実践に即した指導計画を作成し、実践に対する、考察・評価を行い、改善・計画に繋げていますか。	4	4
5	3歳未満や特別な配慮を必要とする子どもへの個別カリキュラムの作成及び評価が行われていますか。	4	4

2. 生活と発達の連続性 ②発達過程に応じた保育

1	その時々の子どもの姿を捉え、保育の内容について職員間で話し合いながら保育していますか。	4	5
2	今日の保育を振り返り記録し次の保育に活かしていますか。	4	4

2. 生活と発達の連続性 ③個人差への配慮

1	子どもの興味や好奇心に共感したり、一緒に遊んだりする応答的な関わりをしていますか。（子どもと一緒に遊びこめていますか。）	5	5
---	--	---	---

2. 生活と発達の連続性 ④生活の連続性

1	一人一人の子どもの心身の発達や生活の実態を把握し、その子が必要としている援助をしていますか。	4	5
2	課程と保育園の生活は連続していることを理解し、保護者との連携を図っていますか。	5	5
3	その日の子どもの様子を伝達し、職員間での情報の共有をしていますか。	4	4

3. 養護と教育の一体的展開 ①主に乳幼児における養護と教育の一体的展開

1	養護が基盤となり、心情・意欲・態度を育みながら、教育（5領域）が展開されていくことが養護と教育の一体化であることを理解し、保育をしていますか。	5	5
2	子どもの欲求を満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行っていますか。	5	4
3	家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況（授乳・離乳食・睡眠・体調等）に配慮して保育をしていますか。	4	4

3. 養護と教育の一体的展開 ②主に1.2歳児の保育における養護と教育の一体的展開

1	保育士に見守られながら、安心して十分に探索活動が出来るようにしていますか。	5	5
2	子どもが自分でしようとする気持ちを尊重していますか。	5	5
3	子どものイヤイヤ・駄々こね等の自己主張が自我の育ちの上で大切であることを理解し、子どもの気持ちに寄り添った関わりをしていますか。（子どもの気持ちに寄り添うための、言葉かけはどうでしょうか。）	5	5
4	保育士等が仲立ちとなって友達の気持ちや関わり方を伝えていますか。	4	5

3. 養護と教育の一体的展開 ③主に3.4歳児の保育における養護と教育の一体的展開

1	子どもの気持ちを理解し認めることで、自信を持ち、自己を十分に発揮できるように保育をしていますか。	5	5
2	子どもの葛藤する思いに気づき、共感し待つ見守る保育をしていますか。	4	5
3	様々な遊びの中で、全身を動かさず意欲的に遊べるようにしていますか。	4	5
4	自分の気持ちや経験を自分なりの言葉で表現できるように、援助をしていますか。	5	5
5	様々な表現活動が経験できるようにしていますか。	4	4
6	友達と楽しく生活する中で、決まりのあることに気づき、自分で考えて行動できるように関わっていますか。	5	5

4. 環境を通して行う保育 ①保育の環境（人的環境、物的環境、空間）

1	子どもがさまざまな人と触れ合えるように配慮していますか。	4	5
2	保育士の言動が、子どもに与える影響の大きいことを理解し、保育をしていますか。	5	5
3	子どもが自ら様々な環境に関わり、自発的に活動を展開できるようにしていますか。	4	4
4	安心して休息できる雰囲気やくつろげる時間と空間を保証し、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにしていますか。	5	5
5	子どもが生き生きと遊べ、継続して活動できる時間と場の確保に努めていますか。	4	5
6	身近な自然や社会と関わることで、様々な人や物への関心を高め、豊かな感性を育むようにしていますか。	4	5
7	子どもの気づき、発想や工夫を大切にしながら、子どもと共に環境の見直しをしていますか。 (その時の子どもの遊びの流行に目を向けて遊びの環境を一緒に考えたり整えていますか。)	4	5

1. 家庭との緊密な連携 ①子供の成長の喜びを共有

1	日々の子どもの様子や成長・発達を知らせ保護者と共に喜びを共有していますか。	5	5
2	子どもの発達や保育内容について保護者にわかりやすく説明していますか。	4	5

1. 家庭との緊密な連携 ②保育内容の説明・応答責任

1	保護者との信頼関係を築き、安心して話せる存在になっていますか。	4	5
2	一人一人の保護者に対してきめ細やかな気配りをしながら、誠実に対応していますか。	5	5

1. 家庭との緊密な連携 ③子育てに関する相談・援助・保護者への個別支援

1	保護者の話を傾聴し、思いをしっかり受け止めていますか。	5	5
2	保護者の不安や悩みを共に考える姿勢で対応し保護者らが選択、決定できるような援助をしていますか。	4	5

1. 家庭との緊密な連携 ④個人情報保護

1	保護者や子どもの個人に関する情報の保護や守秘義務を果たしていますか。	5	5
---	------------------------------------	---	---

2. 地域における子育て支援

1	地域の子育ての支援の役割を認識し、積極的に働きかけをしていますか。	4	4
---	-----------------------------------	---	---

保育園の総評

コロナ禍の開園以後、長きに渡り制限のある活動が多かったが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、活動の幅が大いに広がった。開園して以来、初めての運動会（親子ふれあいデー）の実施も出来た。

日頃の保育においても、園独自の取り組みが多く子どもに対して様々な経験の機会を提供することができている。

運動遊びや英語に対しても、その時間だけで終わることなく他の時間を使い、より内容を深める努力をしていることで、子どもたちの成長も大いに見られた。

保護者とのコミュニケーションも日々密にすることで、子どもの様子を日々安全に見守りながら、保育を実施することができた。

園内研修・外部研修を今後も実施していき、保育士一人ひとりの資質向上により寄与していきたい。

今後も定期的に見直しながらよりよい保育園を目指し、具体的な案や計画におおして実行・評価・改善を繰り返していき、今後もよりよい地域に根差した保育園運営を目指していく。